

取集さるゝ保川より一字の塚を築せしむる事極とて
今あり其後秋田幸季 定季 杵山北城小笠を攻る
籠城兵凡千余人保川の落人馳集り合ふ千七百余
人あり杵山保田行程三里籠城の内秋田監物といふ
者取扱い三家和睦あり監物小野寺北旧臣小野
主膳が二男あり秋田備中守が養子とあり度々武功
あり者あり三家人買ふゝ相済は即先年秋田に切
取し小野寺累代に願北の時返す戸沢は秋田に割
り耐幸季を使者あり貞和立十尾馬又足贈る戸沢
より秋田に使者小籠大膳より秋田場小麻桶幸北

城の北は太師兵衛中原藤七其介兵士を差至益田の
城より一族の肥前守雅兵士百余人八月二日角館
に帰陳其後最上郡難定の佐々木越前守信勝六百
余騎あり小野寺より康士に居城湯沢を攻め下院
内より所小越より直方角館の領北福田より所は
出張して戸沢房八郎が居城田原を攻め九月十一日
福田を占めたり其急北兵創小依て最上戸沢取由を
聞て同十三日房九郎入道夢観戸沢八郎跡を慕ひ
佐々木が勇士山並主水新莊兵衛沼楯吉左衛門等
踏歩りて討死す其介首三十余級亦取信勝ハ同